

---

# 荒国に蘭

亜薇

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

荒国に蘭

### 【Nコード】

N4162BA

### 【作者名】

亜薇

### 【あらすじ】

「何があるうと、私は逃げたくない。」比類なき神力と武才、絶世の美貌を与えられた少女麗蘭。孤児として育ちながらも、自分にはない特別な『宿命』があることを感じ取っていた。大国の侵略にあえぐ帝国の『皇女』であり、天帝に仕える『神巫女』でもある麗蘭が、己が使命に目覚め仲間と共に成長していく物語。【荒国に蘭】では、麗蘭は皇女という自分の身分を知らず、都を離れて山奥で暮らしている。世にも美しい邪神『黒龍』やその異母弟『邪龍』などの敵、仕えるべき天帝『聖龍』と出会い、戦いの道へ進む

決意を固めてゆく。（作者サイト「楽園喪失」に載せたものに修正を加えたものです。）

## 序

其の昔

神々の王 天帝 聖龍神は

此の世に蔓延る数々の悪から力弱き人間を救うべく、  
己の神力を与えて一人の女をお創りになった。

彼女の女、名を 霜 奈雷

清麗かつ聡明、偉大な神力を用いて妖を討つ  
“神巫女” “光龍” である彼女の女は 死ぬ度に転生する魂を持つ。

五百年ごとに生を受ける光龍  
大いなる力でその度使命を全うする。

奈雷没後千五百年、  
新たな光龍 清 麗蘭  
人界に再び下される。

## 序

暗く、湿った洞穴の中。もう何百年も人々に忘れ去られた地である。

静寂が流れ、時折滴り落ちる水の音のみが鳴り響く。

…突如、そこに光の筋が現れた。

全てが静止しているその場所で、それは一際神々しく映る。

眩い程の光の洪水の向こうからまるで空間に浮き出るように、「  
彼」は静かに現れた。

細く滑らかな黒い髪にすらりとした体躯、黒曜石の如く輝く黒い  
双眸。一見女と見紛う、此の世のものとは思えぬ程の美貌。

「やっと、出て来られたか。」

その美しい声は、冷たい空気に乗って低く鳴り響く。

「…千五百年。恐らく未だその程度だろう。それにしては、随分長く待ったように感じるものだ。」

外套を翻し流れる長い髪を白い手で結い上げた彼は、ゆっくりと歩き出す。そして、側に倒れていた白刃の剣を拾いその刃に目を落とす…凍り付くような笑みを湛えたまま。

「兄上、こんな封では長く保<sup>も</sup>たぬと分かっていたであろうに。」

その笑みは、全てを呑み込む程深遠な、闇。

「…僕は僕の、『宿』<sup>しゆく</sup>を果たすでしょう。此の道を選び取ったのだから…」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4162ba/>

---

荒国に蘭

2012年1月10日23時49分発行